



つながりっもいっね

発行日

令和4年11月4日

No.2

発行：幼保小連携推進
協議会代表者会

10月18日(火)、手稲鉄北小学校において、第2回手稲区幼保小連携推進協議会が開催されました。各ブロックに分かれた研修では、幼児が主体的に活動する一つの事例をもとに、幼保小それぞれの観点から子どもの育ちを読み取り、付箋を使って考えを出し合いました。子どもの姿を理解する視点や、活動の取り組み方の違いを感じたグループも多く、お互いを知る良いきっかけとなりました。また、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手掛かりとして幼保小の教職員が子どもの育ちつつある姿を改めて見出すことで、その育ちが小学校生活や学習でどのような力につながっていくのかなど、つながりを見通した話しにも発展していました。小学校につながる資質・能力を育むために幼児期にどのような経験を大切にしたら良いかなど、お互いの視点で意見交換する場となりました。

ブロック研修会



Aブロック

- ・ どうしたらいいか、子どもに考えさせるために一歩ひいて観察する（考える場面をつくる）。
- ・ 何が困っているのか、周りのもので何とかならないか選択肢を与えて、試行錯誤させる。
- ・ 遊びからの継続的活動を助長する。小学校では難しくうらやましい限りである（時間、場所の確保等）。



Bブロック

- ・ 園の生活では子どもたちの自主性を大切にしており、その培ってきた経験が小学校で発揮されていく。
- ・ 言葉の理解は道徳性につながっていく。
- ・ 遊びを通して学ぶ姿は小学校でも見られる。
- ・ 教育を園や学校に任せている家庭が多く、家庭の教育力が下がっているように感じる。



Cブロック

- ・ 子どもの育ちには、「子ども同士の交流の育ち」「経験値・知的面の育ち」がある。
- ・ 園では「10の姿」を常に意識して過ごしている。小学校では結果の評価として「10の姿」を見ている。
- ・ 近年、「わがまま」「自己主張」が高まってきている。「個性」とみるか「協調性のなさ」とみるか。
- ・ 小学校につながるには、「協調性」の視点を大切に。

Dブロック

- ・ 子どもの言葉を待つ手助けする。子どもが主体的に動くのを待つことで他者との関わりにつながる。
- ・ 他の子がいることで、意識の広がりや、他のやり方もあるのかなど思考が発展していく。
- ・ 幼保：遊びの継続を大切にしている。
- ・ 小学校：時間に制限がある。
- ・ まわりに相談しながらつくりあげる力。

Eブロック

- ・先生によって同じ場面や発言であっても、子どもの捉えが異なっている。活動中の着目する視点も異なる。
- ・複数での関わりの中で園児の工夫や心の動きがみられる。
- ・子ども同士話し合いながら、伝え合いながら次の活動につながっていくことから伝え合う力が育っていくと考えられる。
- ・活動が終わった後に気持ち（ありがとう）などを言語化させることで道徳性が育つのでは・・・？

Fブロック

- ・友だちの様子をみることで、あきらめずに活動を続けているのかもしれない。見て学ぶ姿は、幼保小共通。
- ・幼児期の生活経験の差が、小学校の生活や図工などにつながる。
- ・子どもの見方は多様な視点で。固定化しない。
- ・遊びの中にたくさんの育ちがある。過程が大切。自分でやり方を気づく事の大切さ・粘り強く取り組むことで達成感（笑顔）につながる。

2回目の協議会ということもあり、今後の交流活動やその他要望なども含め活発に意見交換がなされていました。幼保小連携推進協議会を通して、更に幼保小のつながりが深まっていくことを願っています。



参加者のアンケートから

以下のようなご意見を今後の参考にしたいと思います。



【ブロック研修を通して】

- ☆写真から子どもたちの姿を読み取っていく中で、色々な姿を理解していくことができ、貴重な時間となった。(幼)
- ☆幼保は子どもの興味・関心・姿に合わせて日々を過ごしている一方で、小学校は限られた時間の中でやるべきことを進めていかなければならない所に差を感じた。小学校に向けて必要なことを具体的に知りたいと思った。(保)
- ☆1枚の写真から活動を捉える時に、幼・保・小それぞれで視点が全然違うことを知った。(保)
- ☆「幼児期に育てほしい姿」は、あくまでも最終的に目指す姿であるので、園での子どもたちの自主性を大事にしながらかつていきたいと思います。(保)
- ☆今回の研修を通して園の先生と小学校の先生とで違いがあることを感じる事ができた。ただ、それは悪いということではなく、その違いをどのようにつなげていくかが大切だということが分かった。(小)
- ☆「10の姿」を参考にしながらスタートカリキュラムを作成し、それを園のみなさんとも共有する必要があるのだろうと思った。(小)
- ☆サポートが必要な子どもたちに小学校に入るまでに何をしてあげたら良いか等、小学校の先生方と話し合う時間もほしい。(幼)
- ☆小学校側からの就学に向けての取り組み課題等があればお聞きしたい。(幼)

第3回は 幼保小連絡会（ひきつぎ）です。
1月12日（木）13:30~16:30

詳細については後日連絡いたします。

